

目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、
該当ページまで移動します。**

<u>出席委員</u>	2
<u>生涯学習課の予算審査</u>	5
<u>教育総務課の予算審査</u>	25
<u>会計室の予算審査</u>	35
<u>監査委員事務局・選挙管理委員会事務局の予算審査</u>	37
<u>議会事務局の予算審査</u>	39
<u>総括質疑及び現地調査箇所の選定</u>	40

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる標記となっている場
合があります。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

平成29年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第4号）

平成29年3月9日（木曜日）

出席議員（1名）

議長 櫻井正人君

出席委員（17名）

委員長 吉岡伸二郎君

副委員長 後藤哲君

委員 鈴木晴子君

西澤文久君

小淵洋一郎君

安田知己君

木村範雄君

土村秀俊君

高久時男君

鈴木忠美君

吉田裕哉君

永野渉君

及川智善君

遠藤紀子君

渡辺幹雄君

郷右近隆夫君

羽川喜富君

欠席委員（なし）

説明のため出席した者

副町長

伊藤三男君

財務課長

高橋三喜夫君

生涯学習課

教育長

本明陽一君

教育次長

松尾隆治君

生涯学習課長兼
図書振興班長兼図書館長

庄子敦君

生涯学習振興班長兼
生涯学習センター所長兼
郷土資料館長

鎌田光伸君

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

生涯学習振興班理事兼 公民館長	阿部善男君
生涯学習振興班副参事	平塚誠宣君
生涯学習振興班主幹	加藤兼征君
生涯学習振興班主任主査	高橋義行君
スポーツ振興班長兼 総合体育館長兼 屋内温水プール館長	佐藤浩幸君
スポーツ振興班主査	佐藤園華君
スポーツ振興班主査	和地修君
図書振興班主査	千葉暁子君
図書振興班主事	伊藤望君

教育総務課

教育長	本明陽一君
教育次長	松尾隆治君
教育総務課長	菅野勇君
学校教育班長	高橋活博君
学校教育班主幹	古澤晃一君
学校教育班主査	内田由希子君
総務給食班長	佐々木辰己君
総務給食班主任主査	加藤典子君
総務給食班技術主査	橋浦真徳君
総務給食班参事兼 学校給食センター所長	高橋信君
総務給食班主任主査	姉崎裕子君

会計室

会計管理者兼会計室長	阿部智子君
会計班長	鈴木由美君
会計班主任主査	大枝大将君

監査委員事務局・選挙管理委員会事務局

局長	鈴木正敏君
----	-------

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

選挙管理委員会事務局主査

蜂屋雄輔君

監査委員事務局主査

佐々木恵君

議会事務局職員出席者

事務局長

鈴木則昭君

主幹

櫻井涉君

主任主査

利玲子君

主事

森沙耶香君

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

午前9時29分 開 議

○委員長（吉岡伸二郎君） おはようございます。

これより予算審査特別委員会を再開いたします。

審査日程表により進めてまいりますので、円滑な議事運営に御協力願います。

ただいまの出席委員は17名です。

審査に入る前に申し上げます。質疑に当たっては1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には、質疑が一巡した後にお願いいたします。また、質疑の際はわかりやすく、簡潔にお願いいたします。さらに、質疑が重複しないよう、できるだけ関連質疑で対応するようお願いいたします。予算の審査でありますので、趣旨を逸脱しないようよろしくお願いいたします。

それでは、審査日程表により、**生涯学習課の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、生涯学習課長より本日出席している説明員を紹介願います。生涯学習課長。

○生涯学習課長兼図書振興班長兼図書館長（庄子 敦君） おはようございます。

平成29年度予算審査特別委員会に出席しております生涯学習課の説明員を御紹介いたします。

初めに、教育長、本明陽一です。（「おはようございます。よろしくお願いいたします」の声あり）

教育次長の松尾隆治です。（「松尾隆治です。よろしくお願いいたします」の声あり）

次に、生涯学習振興班です。

生涯学習振興班長、鎌田光伸です。（「鎌田光伸です。よろしくお願いいたします」の声あり）

理事兼公民館長、阿部善男です。（「阿部善男です。よろしくお願いいたします」の声あり）

副参事の平塚誠宣です。（「平塚誠宣です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主幹の加藤兼征です。（「加藤です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主任主査の高橋義行です。（「高橋義行です。よろしくお願いいたします」の声あり）

続いて、スポーツ振興班です。

スポーツ振興班長、佐藤浩幸です。（「佐藤浩幸です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主査の佐藤園華です。

主査の和地 修です。（「和地 修です。よろしくお願いいたします」の声あり）

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

続いて、図書振興班です。

主査の千葉暁子です。（「千葉暁子です。よろしくお願いたします」の声あり）

主事の伊藤 望です。（「伊藤 望です。よろしくお願いたします」の声あり）

私、生涯学習課長の庄子 敦です。どうぞ、よろしくお願いたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明をお願いします。生涯学習課長。

○生涯学習課長兼図書振興班長兼図書館長（庄子 敦君） それでは、生涯学習課所管の平成29年度予算につきまして御説明申し上げます。

初めに、歳入予算について御説明いたします。

予算説明書①の10ページをお開きください。

14款使用料及び手数料1項使用料4目土木使用料4節中央公園使用料は649万6,000円で、前年度対比25.3%、131万3,000円の増となっております。増額の主なものは、野球場の広告件数の増によるものでございます。5節多目的運動場使用料としまして、25万2,000円、また6節北公園等使用料としまして77万4,000円を計上しております。

次に、5目教育使用料につきましては、1節十符の里プラザ使用料としまして158万4,000円、2節生涯学習センター使用料としまして108万8,000円、3節体育館使用料としまして372万円を計上しております。

引き続き、11ページをごらんください。

4節屋内温水プール使用料としまして1,352万4,000円、5節行政財産使用料のうち十符の里プラザ使用料7万2,000円、生涯学習センター使用料93万4,000円、体育館使用料13万5,000円、屋内温水プール使用料42万7,000円をそれぞれ計上しております。

20ページをお開きください。

16款県支出金2項県補助金7目教育費補助金5節地域協働活動推進事業交付金200万円は、平成28年度におきましては宮城県協働教育プラットフォーム事業、宮城県放課後子ども教室推進事業でありましたが、平成29年度からは地域学校協働活動推進事業に名称を変更したもので、家庭教育事業、子供の居場所づくり事業、放課後子ども教室事業に対する宮城県からの交付金であります。

21ページをごらんください。

16款県支出金3項委託金2目教育費委託金1節経由処理事務委託金12万5,000円は、文化財保護法に基づく埋蔵文化財及び特別名勝松島の現状変更の事務処理件数に対する宮城県からの

事務委託金であります。

23ページをお開きください。

19款繰入金2項基金繰入金7目スポーツ振興基金繰入金1節スポーツ振興基金繰入金56万円は、生涯スポーツ活動派遣事業に充当するものであります。

25ページをお開きください。

21款諸収入4項受託事業収入1目教育費受託事業収入1節社会教育費受託事業収入110万円は、平成28年度におきまして実施いたしました三陸自動車道春日パーキングエリア拡張工事に伴う硯沢窯跡発掘調査結果を整理するために宮城県道路公社から受託するものであります。

また、21款諸収入5項雑入3目雑入1節受講料のうちスポーツ教室受講料としまして425万7,000円を計上しております。

26ページをごらんください。

7節シンポジウム助成事業助成金200万円につきましては、総務省所管の自治総合センター助成金を活用するもので、文化複合施設整備に関連して実施するまちづくりシンポジウムに対する助成金であります。事業の内容につきましては、文化複合施設を拠点とした地域協働をテーマに生涯学習がどのようにまちづくりに貢献していけるのか、イベントの企画運営に町民の皆様がどのようにかかわっていけるのかを考える契機とするもので、基調講演、先進事例発表、パネルディスカッションでの開催を予定しております。

以上が歳入予算であります。

続きまして、歳出予算について御説明を申し上げます。

初めに、生涯学習振興班から御説明いたします。54ページをお開きください。

2款総務費6項企画費4目復興推進費5,840万9,000円のうち、埋蔵文化財包蔵地内において被災地の個人住宅の建てかえ等に伴い、確認調査等が必要となった場合の調査費といたしまして13節委託料、14節使用料及び賃借料など合わせて180万円を計上しております。

119ページをお開きください。

10款教育費4項社会教育費1目社会教育総務費9,329万5,000円は、前年度対比3.7%、334万円の増となっております。増の主な理由は先ほど歳入予算の中でも触れましたが、新規事業のまちづくりシンポジウムの開催、また拡充された地域学校協働活動推進事業にかかる予算の増が主な理由でございます。

そのほか、歳出予算の主なものといたしましては、1節報酬40万2,000円は社会教育委員の報

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

酬で、各種事業を委員の皆様にごらんいただき事業に対する御意見や評価をいただいております。8節報償費367万8,000円は、家庭教育学級、インリーダー研修会、ジュニアリーダー研修会、土曜日の子どもの居場所づくり事業「りふ・わくわく広場」そして放課後子ども教室を初めとする各種事業の講師謝礼等でございます。

121ページをごらんください。

11節需用費122万5,000円のうち主なものは、印刷製本費74万9,000円で、生涯学習ガイド及び成人式次第などの印刷製本費でございます。

19節負担金、補助及び交付金42万1,000円は、各種団体に対する補助金であります。

2目公民館費378万5,000円は前年度対比2.1%、7万6,000円の増で、創立70周年を迎えます婦人会に対する補助金が増額になったことなどによるものであります。

歳出予算の主なものといたしましては、1節報酬85万9,000円は、文化芸術振興審議会委員及び分館長の報酬であります。

8節報償費84万7,000円は、公民館教室や地区教養教室などの講師謝礼となっております。

122ページをごらんください。

11節需用費44万8,000円のうち印刷製本費29万9,000円は、文化祭及びスクールバンドフェスティバルのポスター印刷代であります。

13節委託料11万円につきましては、スクールバンドフェスティバル開催に伴う楽器運搬業務委託料であります。

19節負担金、補助及び交付金131万8,000円のうち、負担金の河北美術展利府展共催負担金60万円は、芸術鑑賞の機会を提供するため開催するものであります。

3目文化財保護費384万3,000円は、前年度対比75.4%、1,174万9,000円の減となっております。減の主な理由は、春日パーキングエリア拡張工事に伴う発掘調査が終了したことによります。

なお、平成29年度におきましてはその整理作業を行うこととしており、主なものとしましては4節共済費に32万円、7節賃金臨時職員の発掘調査補助員1名分202万4,000円を計上しております。

その他11節需用費81万8,000円のうち、印刷製本費56万5,000円は、硯沢窯跡発掘調査報告書の作成並びに遺跡紹介マップ「十符の里のさんぼみち」を作成する経費であります。特に遺跡紹介マップ「十符の里のさんぼみち」は、学校教育で活用していただくため町内小学校6年生

にも配布することとしております。

また、修繕料12万1,000円は八幡崎B遺跡、六田遺跡、伊豆佐比売神社の文化財案内板の修繕を予定しております。

123ページをごらんください。

15節工事請負費7万5,000円は、文化財保護標柱を関根遺跡に設置するものであります。

4目十符の里プラザ管理費1,908万4,000円は、前年度対比7.0%、144万1,000円の減で、十符の里プラザ施設の維持管理に要する経費を計上しております。

主なものといたしましては、1節報酬265万7,000円は、施設管理に係る非常勤職員の人件費であります。

11節需用費のうち修繕料75万円は、施設内の各種設備の修繕費用であります。

13節委託料1,015万6,000円につきましては、公民館及び学習センターの機械警備や清掃業務、各種設備の保守点検等を一括で委託している十符の里プラザ管理業務及び施設の維持に必要な委託業務に係る経費であります。

124ページをお開きください。

5目生涯学習センター管理費1,138万5,000円は、前年度とほぼ同額で、生涯学習センターの維持管理に要する経費を計上しております。

歳出予算の主なものといたしましては、1節報酬428万1,000円は、施設管理に係る非常勤職員の人件費であります。

11節需用費663万4,000円は、施設管理に係る消耗品、燃料費、光熱水費、修繕料であります。

14節使用料及び賃借料18万2,000円につきましては、除細動器賃借料及び町民の方々に御利用いただいております印刷機、コピー機等の経費であります。

次に、6目郷土資料館管理費23万1,000円は、前年度とほぼ同額で郷土資料館の維持管理等に要する経費であります。

続きまして、図書振興班の歳出予算について御説明申し上げます。

125ページをごらんください。

7目図書館費2,624万8,000円は、前年度対比29.3%、1,089万1,000円の減で、図書館の管理運営に要する経費を計上しております。減の理由につきましては、職員人件費等の減によるものであります。

歳出の主なものといたしましては、1節報酬343万1,000円は図書の貸し出し整理を行う非常

勤職員4名分の報酬であります。

11節需用費96万9,000円は、雑誌・新聞の購入及び図書館利用者カードの印刷を行うものであります。

18節備品購入費371万円は、絵本や小説などの図書約1,800点及び視聴覚資料65点の購入経費を計上しております。

なお、8目の図書館建設基金費についてなんですが、事務の効率化を図るため平成29年度から文化複合施設推進班に移管することとしておりますので、よろしくお願いたします。

続きまして、スポーツ振興班の歳出予算について御説明を申し上げます。

101ページをお開きください。

8款土木費4項都市計画費4目中央公園管理費につきましては、中央公園野球場及びテニスコート、多目的運動場の維持管理に要する経費として、前年度とほぼ同額の2,261万9,000円を計上しております。

102ページをお開きください。

5目北公園等管理費584万1,000円は、前年度対比13.2%、88万9,000円の減で、沢乙北公園の維持管理に要する経費を計上しております。

減額の主な理由は、館公園野球場を除外したことによる委託料の減によるものであります。

126ページをお開きください。

10款教育費5項保健体育費1目保健体育総務費4,578万4,000円は、前年度対比5.4%、233万9,000円の増で、スポーツ推進委員19名分の活動に要する経費、職員人件費及びふるさとスポーツ祭、スポーツ交流フェスティバル等の町民の皆様の健康増進やスポーツの普及に係る経費を計上しております。

なお、増額の主な理由は、職員人件費の増によるものであります。

127ページをごらんください。

2目体育施設費2,286万8,000円は、前年度対比6.2%、150万7,000円の減で、総合体育館の維持管理に要する経費を計上しております。

減額の主なものは、委託料の減によるものであります。

128ページをお開きください。

3目屋内温水プール運営事業費1億2,719万7,000円は、前年度とほぼ同額で、屋内温水プールの維持管理に要する経費を計上しております。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

132ページをお開きください。

6目インターハイ対策費4,527万2,000円は、前年度対比243.2%、3,207万9,000円の増で、今年7月から8月にかけて開催される全国高校総合体育大会に要する経費を計上しております。増額の主なものは、職員増員分の人件費、本町で開催される4競技分の会場設営費や競技等に対する必要経費などについて、実行委員会補助金として計上したものであります。

次が最後になります。大変恐縮ですが、42ページをお開きください。

2款総務費1項総務管理費15目町政施行50周年記念事業費8節報償費のうち生涯学習課が担当いたします事業は、図書振興班が担当し、絵本作家を招聘して開催する図書館講演会事業に30万円、また、スポーツ振興班が担当するスポーツ大会等特別後援記念品事業につきましては、各種スポーツ大会等に対しまして記念トロフィー等を提供するもので、54万円を計上しております。

以上が生涯学習課所管の平成29年度予算の主な内容であります。御審議のほどよろしく願います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。質疑の発言を許します。質疑ありませんか。14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 2点、お伺いいたします。

説明書の4項社会教育費の中で、120ページになりますが、8節の報償費です。この中でブラザーシップ事業協力者謝礼、それから子どもの居場所づくり事業協力者謝礼、放課後子ども教室協力者等謝礼の3点のこの協力者謝礼と出ております。この部分の人数と、私は子供の居場所づくりの事業には当初からかかわっておりましたので、時給を存じておるんですけども、ここの説明をお願いいたします。人数と時給がわかりましたら、お願いいたします。

それから、122ページの公民館費の中で19節負担金補助金及び交付金の中で、第80回の河北の美術展がございますが、これは前年とも同額の60万円が計上されております。こちらは、第80回という記念のときなんですけれども、ちょうど町政も50周年に当たるということで、私も一般質問でちょっと触れたんですけども、何か特別なものを考えていらっしゃるのか、お願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局、答弁願います。鎌田班長。

○生涯学習振興班長兼生涯学習センター所長兼郷土資料館長（鎌田光伸君） 14番遠藤委員さんの質問にお答えいたします。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

りふ・わくわく広場等の協力者の人数等につきましては、まず、りふ・わくわく広場におきましては、コーディネーター3名、あと今年度はサポーター35名うち大学生が9名というふうになっております。また、放課後子ども教室につきましては、協力者4名の体制で行っているところでございます。ブラザーシップにつきましては、それぞれ中学校区で開催しております十符っ子の日におきましての協力者ということで、その年度によって協力者の人数が変更になっているところでございます。

続きまして、人件費の質問につきましては、事業の協力者の謝金の根拠でございますが、県の協力者の謝金単価と利府町の臨時事務補助の単価の平均をとりまして算出しているものでございます。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 2点目、公民館長。

○生涯学習振興班理事兼公民館長（阿部善男君） 遠藤委員にお答えいたします。

第80回河北美術展利府展の負担金ということで60万円計上してございますが、例年の河北展と同様と形で考えてございますが、河北新報では80回ということで、新たな事業ということで考えているようでございます。ただ利府町においてこの河北美術展においては例年どおりの規模等々で行っていききたいと、また新たなものが出ればその部分については御説明を申し上げるという内容でございました。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 それぞれ同じ協力者と謝礼という項目でも内容が多少違いますので、その時給単価といたしますか、そういったものも違うのは理解できます。500円の根拠という、りふ・わくわく広場ですけれども、これはもうはっきり申し上げまして時給500円でございます。

平成18年から始まりまして、子供たちとそれから年齢の離れた大人との居場所づくりでここ10年続けることができました。毎回、教育委員会で点検評価の報告書というものをいただいております。この中にも必ず評価としてよい評価をいただいておりますが、ここでもいつもサポーターを確保できていないということが毎年出ております。それに対してどのような今後私も実際にかかわっていてサポーターの確保というのが非常に大変でして、ここにおります大学生なんかの協力も得ておるところでやっともっている状態なんです、その辺の今後のサポーターをいかにして確保していくかというお考えをお聞きいたします。

それから、河北展ですが、昨年の河北展において肩書は忘れましたが、大会のテープカットのときに河北新報の方がおっしゃった中身で80周年ですし、ちょうど町政も50周年に当たると

ということで、子供絵画展なんかを考えておりますというお話が確かにございましたんですけども、一般質問の中でそのことも申し上げましたが、その点は何も動きはございませんでしょうか。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鎌田班長。

○生涯学習振興班長兼生涯学習センター所長兼郷土資料館長（鎌田光伸君） では、遠藤委員さんの再質問にお答えいたします。

りふ・わくわく広場の今後のサポーターの増員についてでございますけれども、今までもホームページ等でサポーターさんの呼びかけをしているところでございます。また、大学のほうにもボランティアとして活動してもらえないかというような呼びかけもしているところでございます。今後もサポーターの皆さんが高齢になっているということもございますので、幅広く地域の方にも呼びかけるような形でサポーターを募っていきたいなというふうに考えておるところでございます。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 阿部館長。

○生涯学習振興班理事兼公民館長（阿部善男君） 遠藤委員にお答えいたします。

子供絵画展にということでございました。河北新報でそのようなお話等々も去年、私も聞かせていただいております。ただ、そこから情動的な固まった内容というのがまだ私たちのほうには示されてございません。話としては遠藤委員がお聞きになっている内容とほぼ同じ、今推移で考えてございます。ただ、河北新報のほうでは着々と進めているだろうというふうに思いますが、内容的にはまだ開示されていない、そういう状況でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 遠藤委員。

○遠藤紀子委員 河北展のほうは何かぜひ河北新報社とも話し合っただけ何かいいイベントをしていただきたいと思えます。

この放課後子ども教室のことですけれども、非常に生涯学習課のほうでも努力していただきますし、職員も一緒にかかわっていただいております。それから発達障害のお子さんも何人かいらして、とても居場所としては私は自分でかかわっていながら申すのも恥ずかしいんですけども、非常に意義のある場所だと思いますし、今後も広報活動といいますか、大学生と子供たちとのかかわりというのも非常に功を奏しているのではないかと思いますので、私自身の希望といたしましては、せめて交通費ぐらいはと思っておるんですけども、その辺のお考えはいかがですか。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） 鎌田班長。

○生涯学習振興班長兼生涯学習センター所長兼郷土資料館長（鎌田光伸君） 遠藤委員さんの再々質問にお答えいたします。

交通費をとということでございますけれども、県のほうに謝金等のことで問い合わせたところ、事業の提出しております金額の範囲内であれば謝金等を上げることも今後検討できるのではないかなというふうに考えております。ですので、今後事業内容を吟味いたしまして謝金単価が上げられるかどうか、交通費が拠出できるかどうかを検討してまいりたいと考えております。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 16番郷右近委員。

○郷右近隆夫委員 1点お伺いします。

127ページの13節委託料。プロ野球2軍戦の補助業務委託料ですけれども、これはプロ野球の楽天の公式戦の委託だと思いますが、ことしは何試合で、それでこの中で反映されていないんですけれども、中央公園野球場が老朽化ということで、内野の黒土の補充、そういうこの予算では反映になっているのかどうか。それで、特に内野のゆがんだ関係で、黒土の補充が本当に必要かなと見ております。それで、その辺の考え、お伺いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） 16番郷右近委員の質問にお答えいたします。

まず、127ページの委託料の中のプロ野球2軍戦の補助業務委託料ということで、楽天の試合数はことしは2017シーズンは18試合を予定されております。

それとあと野球場の黒土の補充につきましては、一応3月中に一度整備をかけまして、それから後はその都度都度補充が必要な際に補充をしていくという考えでおります。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 郷右近委員。

○郷右近隆夫委員 それで、黒土の補充ですけれども、かなり量必要だと思うんですが、どの辺、補充するのか。内野は大分、ファースト、セカンド、サード。あともう1点は、芝生と内野の黒土の盛り上がりですね、その辺直さないとかかなりゆがんで土がめり込んでいるわけですね、盛り上がっている。その辺の考え、お伺いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） お答えいたします。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

野球場につきましては、毎年集中的には3月に土を攪拌しながら補充も行いながら、当然芝の部分と土の部分の境目も段差がないような整備を毎年行っている状況です。ただ、補正予算の際にもお話ししたとおり、大分老朽化が進んでおりまして、芝の部分も大分傷んできているということもあり、それから芝の部分がだんだん隆起してきているということもありますので、その辺の整備はできるだけプレーヤーに支障がないように整備を行っていきたいと考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 土の量なんかは。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） 毎年土の量的には、年によっても違うんですけども、数量を言ってお知らせかどうかはあれですけども、4立米から5立米ぐらいは毎年入れております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 郷右近委員。

○郷右近隆夫委員 それで、プロ野球だけではないんですけども、土も補充している倉庫というか、土の入れるところ2カ所ございますが、ちょっと毎年少ないようなんですが、プロ野球も3月後半、4月から始まると思うんですが、その辺の補充、やっぱりもっと多くしないと足りないなと見ておりますが、その辺をお答えいただきます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） お答えいたします。

土の量ですけども、どうしてもストックヤードが小さいものですから、入れられる量というのが決まっております、多いときですと雨降った次の日とか補充のためにストックヤードの半分ぐらいを使うときもあります。その辺もちょっと施設的な面というのがありますので、できるだけ不足にならないような形で補充はしてまいりたいと考えておりますけれども、ちょっと施設的な面という部分も考慮いただければと思います。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。3番後藤委員。

○後藤 哲委員 2点ほどお願いします。

120ページの報償費のまちづくりシンポジウム講師等謝礼の中身、どういう方が講師されているのですね、この中身を教えてください。

2点目が127ページ、先ほど郷右近委員が聞いた13節委託料でプロ野球2軍戦補助業務委託料、要は試合数に関係なく昨年と同様の金額計上されていますが、この辺の内容、教えてください。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） 答弁願います。鎌田班長。

○生涯学習振興班長兼生涯学習センター所長兼郷土資料館長（鎌田光伸君） 3番後藤委員の1点目の質問についてお答えいたします。

まちづくりシンポジウムにつきましては、内容を今後検討していきながらやっていくという形になりますが、基調講演をいただいたり、パネリスト同士でのディスカッションをしていくというような形を計画しておるところでございますので、文化複合の関連する講師の先生を選定、今後してまいりたいと考えておるところでございます。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） お答えいたします。

127ページのプロ野球2軍戦の委託料ですけれども、昨年も同金額を載せて、28年度は実際契約したのは108万円で契約しております。ということで、一応予算計上する際に試合数とかがまだ決まっていない部分もありますので、一応その辺は試合数が決まってから随時契約の段階で変更していくという考えでありますので、御理解いただければと思います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤委員。

○後藤 哲委員 1点目のまずシンポジウムの件なんですけど、今から計画ということで、要は150万円の予算組みしておりますが、どのぐらいの回数でどういう方、大体予定としてあれば教えていただきたいと思います。

あと2点目の試合数が決まっていないという状況で、これよりふえるということはないんですか。金額が。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鎌田班長。

○生涯学習振興班長兼生涯学習センター所長兼郷土資料館長（鎌田光伸君） 後藤委員の再質問にお答えいたします。

回数につきましては、次年度1回を予定しております。人数につきましては、先生方全て含めて5人ぐらいを考えておるところでございます。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） お答えいたします。

一応、過去の実績を申しますと、昨年が18試合予定されて16試合が開催された。その前が23、その前が34。その前にいくとまた20試合程度になっておるといことも勘案しますと、ちょっと毎年動きがあるので、その辺は楽天さんの予定等もありますので、今後変動は考えられ

ると考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 後藤委員。

○後藤 哲委員 シンポジウムの件でもう一度だけ、お願いします。

1回開催で5人程度の講師ということで、1人当たり30万円の予算組みですよ。そのぐらい、ちょっと私どの程度の金額がいいか何かよくわかりませんが、1回30万円の謝礼というのはかなり大きい額だと思うんですが、これは課長から答弁をお願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 庄子課長。

○生涯学習課長兼図書振興班長兼図書館長（庄子 敦君） 後藤委員の再々質問にお答えを申し上げます。

シンポジウムの講師の内容ということでございますけれども、150万円の予算の枠内で、例えばちょっと有名な方ですね、そういった方を基調講演に招く講師として招いて、またパネルディスカッションではパネラーというふうなことで、総額で150万円ということにはなっておりますけれども、そういった割り振りは今検討してですね、講師の先生の何というかランクというんですかね、いろいろ謝金の額というのもさまざまなので、どなたを今、この額、この方を幾らというふうなことはちょっとまだそこまでは達していない状況でございますので、御理解いただければと思います。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。9番高久委員。

○高久時男委員 それでは、122ページ、公民館費の中の19節負担金及び補助金の中で、婦人会事業45万円ということで昨年より10万円ふえています。それと逆に文化芸術協会事業が昨年13万円が9万8,000円という形で、3万2,000円ほどですか、減額されております。こちらの算定基準を教えてくださいのと、あと13節の委託料スクールバンドフェスティバルの楽器運搬業務、昨年なかったんですけども、どのような理由か。その辺、お願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 平塚副参事。

○生涯学習振興班副参事（平塚誠宣君） 9番高久委員にお答えいたします。

芸術文化協会の昨年度から今年度への3万2,000円の減の算定基準ということでございますが、昨年度は仙台管内で宮城県民文化祭が開催されております。それに伴いましての昨年度限りの補助金の増額ということで、団体さんのほうには了解を得ております。

あともう1点の13節委託料のスクールバンドの楽器運搬業務委託料の件でございますが、こちらにつきましては昨年度まで14節の使用料及び賃借料のほうで自動車借上料ということで計

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

上しておりましたが、内容のほうを精査させていただきまして、今年度は委託料ということで計上させていただきました。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 高久委員。

○高久時男委員 婦人会事業のほうは。

○生涯学習振興班副参事（平塚誠宣君） 失礼いたしました。

婦人会事業でございますが、婦人会事業につきましては今年度創立70周年記念を迎えるということでございまして、そちらに伴いましての記念式典等のことをいろいろ婦人会のほうで計画しているということで今年度は10万円を増ということで計上させていただきました。あと、記念誌等も含めております。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。1番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 132、133ページの10款5項6目インターハイ対策費なんですけれども、4,500万円ぐらいあるんですが、こちらについてなんですけれども、県内自治体全て負担していくのかなというふうに思うんですけれども、利府町とほかの自治体とのこの差額というかそういうのがありましたら、利府町的には多いのか少ないのかという部分、教えていただきたいなと思いました。

それからもう一つ、42ページ、2款1項15目の50周年なんですけれども、報償費の図書館講演会講師謝礼のほう30万円ということで、こちらのほう、この講師の謝礼なんです、30万円ということなんですけれども、その金額に見合った人を選ぶのか、それとも既に人が決まっているのかという部分と、あとこの講演会の行事の日にちがもし決まっていたら教えていただければと思います。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） 1番鈴木委員の御質問にお答えいたします。

132ページ、133ページですけれども、インターハイ関係の対策費ということで、県内市町村では11市町がインターハイが開催される市町でございます。そのうち利府町は仙台市と同じ4競技が開催されるということでございますので、4競技分の負担があるということになりますので、他市町村から比べれば負担は多くなっております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 庄子課長。

○生涯学習課長兼図書振興班長兼図書館長（庄子 敦君） 続きまして、2点目の御質問にお答

え申し上げます。

42ページ、町政施行50周年記念事業費の中の図書館講演会についてであります。その30万円の算出根拠ということ、算定根拠、あるいはどなたがというふうなことなんですが、誰をということはまだ当たっておりません。ただ、30万円の根拠につきましては、これにつきましてはこちらでも以前、一昨年ですかね、コミュニティー助成事業という、そちらの助成金事業を活用する予算内容になっておりまして、その中でこういった講演会につきましては、30万円以上の事業でなければ交付されないというふうなこともございます。なので、一応講師謝金につきましては30万円ということをご予定させていただいているということでございます。

なお、この図書館講演会につきましては、図書振興班で図書館のほうで作成しております子ども読書活動推進計画に基づきまして、一流の絵本作家を招聘いたしまして子供さんあるいは保護者の皆さんに本物を見ていただく機会ということで実施しているもので、来年平成29年におきましてはこの町政施行の50周年記念事業に合わせて開催する事業ということになっておりますので、御理解いただければと思います。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鈴木委員。

○鈴木晴子委員 インターハイのほうなんですけれども、仙台市と同じ4会場ということで、仙台市とは大分規模が違うかなというふうに思う中で利府町が大分負担が大きいのかと思うんですけれども、全て一般財源から支出となっているんですが、その辺町としてどのように考えているのかお伺いいたします。

それから、先ほどの図書館のほうなんですけれども、日にちということをお願いしたんですが、まだ決まっていないのであれば時期ぐらいのものを教えていただければと思います。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） お答えいたします。

仙台市と同じ4競技で仙台市と利府町の財政規模を考えて、その辺を一応県のほうにもお話ししまして、特別利府町につきましては負担金を軽減してもらっているという経緯はございます。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 庄子課長。

○生涯学習課長兼図書振興班長兼図書館長（庄子 敦君） 2点目の図書館講演会につきましてお答え申し上げます。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

図書館講演会につきましては、講師をまだ選定していないということで、講師の先生のやはり人気のある先生になりますとどうしてもスケジュールを抑えるのがなかなか難しいという面はございます。ただ、ことしの平成28年度におきましても1月に開催しておりますので、それぐらいの時期を一応想定はしております。それぐらいになりますと以外と絵本作家の先生方も少しスケジュール的にあいてくる時期というふうなタイミングなので、それに合わせて調整していきたいと考えておりますので、御理解いただければと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。17番羽川委員。

○羽川喜富委員 1点のみ、確認の意味でお願いしたいと思うんですけれども、10ページの中央公園の使用料の内容で、649万6,000円計上されておりますけれども、野球場関連でこれから楽天を踏まえてまた一般の方々にも使っていただくことで、収入面に関して、外野フェンスの広告の収入はここで入っているんだらうと思うんですけれども、まだあきの内容があると思っていて、できれば全てそのところを埋められるような今の現状、どれだけの内容、またどれだけの働きかけをしていただいて広告の募集内容が今現状どうなっているのか、その件に関してちょっと確認させていただきたいと思います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） 17番羽川委員の御質問にお答えいたします。

10ページの中央公園の使用料の中の広告料の件ですけれども、一応昨年1社、それから今進んでおります3月で1社、合わせて2社が今年度中にふえるという形で、一応合計で10社になっております。残りが6社分ということになりますので、そちらも鋭意努力しながら広告主の募集等を図っているところではございますので、御理解いただければと思います。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 羽川委員。

○羽川喜富委員 今の説明でわかってきたので、ちょっと安心しながら、ただまだ6社まだ残っているという場所なので、早急に対応していただければと思うんですけれども、あと一般質問等踏まえて広告、外野フェンスの内容だけという形でなくて、野球場フェンス、さまざまあって、多くの人たちに見ていただく内容がある場所は確保できるかと思うんですけれども、これ以外のところで広告の収入を上げる何か取り組みを今後今考えておる部分があれば、それをお示しいただければと思います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） お答えいたします。

広告収入で外野のフェンスはできれば2年ぐらいで埋めたいなどは考えていたんですけども、3年ぐらいかかっておりますけれども、ちょっとその先の広告の掲出場所ということになりますと、なかなか施設的にも載せられるような場所というのが限られておりますので、今のところはまだ考えておりませんが、今後検討してまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに。吉田委員。

○吉田裕哉委員 3点ほど質問いたします。

同じく10ページから11ページにかけてなんですが、屋内温水プール使用料収入ということで、1,352万円ほど見込んでおります。最近ちょっとよく町民の方に聞かれまして、一部報道によるものだと思うんですけども、この中でプールそのものとスタジオとジムと、それぞれの見込み、もう少し詳細ですね、わかれば教えていただきたいなと思います。

次に、119ページから121ページにかけての社会教育総務費の中で、放課後子ども教室がございます。今年度、冬からモデル事業として三小で始まった事業ということで、私も先日少し見学させていただきまして、子供たちが楽しんでいる様子が伺えました。もう少しよい環境を整備してあげたいところですが、ちょっと余裕教室もなく難しいなという状況が理解できました。今年度、年度を通しての取り組みとなると思うんですけども、拡充につながると思うので、その辺、ぜひ御説明をいただきたいなと。今年度の取り組みを示していただきたいなと思います。

3点目が132ページで、先ほども質疑ありましたインターハイ対策費ですけども、その中の19節で、実行委員会への補助金が2,865万円と大きい金額ですので、この中での項目ですね、どういった明細といたしますか、名義で出していくのか。もう少し細かい内訳を報告いただきたいなと思います。

また、この体制ですね、インターハイ終わって9月はどうしていくのか。職員3名ありますけれども、事後整理、残務整理などありますけれども、年間としてはどういった体制とっていくのかを少し報告いただきたいなと思います。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局、答弁願います。佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） 11番吉田委員の御質問にお答えします。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

まず、10ページの、11ページになりますか、屋内温水プールの使用料関係ですけれども、済みません、屋内温水プールの利用者数等から算出しておりまして、一応プールにつきましては見込みで1,500名ほど増を見込んでおります。ダンススタジオにつきましては前年度同様、それからトレーニング室につきましてはこちらも1,000人ぐらいは増加を見込んでおりますけれども、プールのほうに関しましては、プールとあとは教室ですね、教室関係もありますけれども、教室のほうは何というんでしょう、「健康になり放題」というカードがございまして、1カ月で使えるというカードがありまして、そちらの利用が多くなっていることから、なかなか使用料がふえていないということも現状でございまして、その辺も加味して計上したところでございます。

それから、3点目のインターハイの関係ですけれども、こちら負担金の項目ですけれども、実行委員会のほうでは一応総務関係、事務局費という形とそれから運営費としまして事業費というようなくくりで計上しております。一応事務局費につきましては、850万円ほど、それから運営費につきましては負担金分ということで2,000万円ぐらいを計上したところでございます。その運営費の内訳につきましては、大会の役員、それから役員が全国から役員が来るものですから、そちらの旅費関係、それとあとは補助員といたしまして高校生が会場まで来る分の旅費関係、そういったものも計上しております。それから、一番大きなものとしたしましては、会場の設営に係る経費といたしまして、会場設営の委託、それから記録集計システムというものがございまして、報道関係にも速報で流せるようなシステムがございまして、そちらの委託料等が入っております。もちろん、会議等の細々としたものもございまして、そちらの費用も含んでおります。

それから、インターハイの体制ですけれども、今現在は町の職員が3名、それと県から1名の派遣職員、それと高校の先生が2人、それと4月からは臨時職員として3名ということで、職員体制につきましては全部で9名の体制を築こうとしております。インターハイの精算関係は、大会が終わってすぐに精算という形になりますので、一応事業的には9月までということで考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 鎌田班長。

○生涯学習振興班長兼生涯学習センター所長兼郷土資料館長（鎌田光伸君） 11番吉田委員の2点目の御質問についてお答えいたします。

今年度新規事業またはモデル事業となるように始めました利府町の放課後子ども教室推進

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

事業につきましては、回数を12回予定しておったところ、一度感染性の胃腸炎等が流行したことによりまして1回減らしまして11回開催したところでございます。内容につきましては、学習をメインとしてあとは自由遊びということで開催をしておったところでございますけれども、子供たちの明るい笑顔がふえるようにということで地域の方に御協力いただいて、ギターの演奏を取り入れて童謡を歌ったり、あと唱歌を歌ったりというような活動、またオカリナの演奏者の方にもお越しいたいで同様な活動をしたり、あと紙飛行機づくり等を開催して活動が充実できるようにということで、取り組んでまいりました。また、季節に合ったものとして、サントさんがやってくるとか、そういうものについてもちょっと考えながら取り組んだところでございます。

今後のことにつきましては、さらに回数をふやしましてモデル事業ということで充実を図ってまいりたいなというふうには考えているところでございます。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 吉田委員。

○吉田裕哉委員 それでは、132ページからのインターハイ対策費についてだけ、再質問させていただきます。

施政方針でインターハイ開催期間中はシティセールスの絶好の機会ということで、大会を盛り上げるというようなことを施政方針で述べておられました。所管として違うところがかかわるのかなとも思うんですけども、ちょっとその盛り上げとして教育委員会、所管課としてはどのように取り組むのか、役場全体としてはどのように取り組むのか把握している状況、お示しいただければと思います。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） お答えいたします。

インターハイ期間中の盛り上げということでございますけれども、一応インターハイに関しましては高校生の祭典ということで、利府町では以前国体とかワールドカップとかも経験した経緯があります。その当時いた職員もまだおりますけれども、現在に至っては新しい職員が結構入ってきておりますこともありまして、インターハイもそうですけれども、インターハイというよりは例えば2020年の東京オリンピック、それに向けた何というんでしょう、リハーサル的な大会と位置づけまして、その辺を若い職員にも大きな大会等に携わっていただきながら町民の皆様にも盛り上げというのも図ってきたいと思っております。

具体的には、前にも国体のときにもやりましたけれども、植栽の、植栽というか花ですね、

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

花の設置とか、それから駅前での町のPRコーナーの設置とか、そういったことをそんなに大きく大々的にはできないかもしれませんが、その先のオリンピック等をにらんだ形でちよっと経験してやっていければという考えでおります。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに、関連で、10番鈴木委員。

○鈴木忠美委員 今インターハイの話いろいろ出ていましたけれども、利府町でこういう全国の総体が開かれるということは非常に利府町のPRにはつながることは間違いないと思いますが、一般会計から約2,900万円ですか、予算を使ってやるわけですが、これはサッカーのときもいろいろ話題になりました。地域住民からいろいろ周知を徹底しておかないと混雑が予想されるのかなと。この工程が一応7月の28日から8月20日までということで、重なり見るとバレーボールとサッカーだけが5日間重なる。あとは重ならない、ダブリはないので、そう混雑はないのかなとは思いますが、やっぱり路上駐車がないようにとか、周辺住民の周知方についてどのように考えているのか。

それからもう一つは一番町としては利府町PRになるけれども、金を使った以上、経済効果はどの程度、町として見ているのか、その辺についてお伺いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 当局、答弁願います。佐藤班長。

○スポーツ振興班長兼総合体育館長兼屋内温水プール館長（佐藤浩幸君） 10番鈴木委員の御質問にお答えいたします。

一応インターハイの周知関係につきましては、これまでも駅の構内に看板の設置等をいたしましてPR活動を行ったり、それから広報紙等にも当然掲載しながら活動を行っております。それで、混雑につきましては、今いろいろ計画はしているんですけども、高校生の大会ということもございますので、選手がまとまってバス等で乗り入れるということ等も想定しておりますので、例えば前にあった国体とかとはちょっとその辺の交通体系はちょっと違うのかなと。さほど大渋滞というのは想定されないと考えております。

それから、こちらのインターハイの経済効果ということでございますけれども、国体とかそういったワールドカップとか、そういった大会の折には、一般の方がいっぱいいらしたということもありまして、経済効果も少し上がったのかなとは考えておりますけれども、インターハイの場合はどうしても高校生の大会ということで、そこに経済効果を求めるというよりは町をPRしていくということに努めさせていただければと考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑ありませんので、以上で生涯学習課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

ここで暫時休憩いたします。再開は10時55分といたします。

午前10時39分 休 憩

午前10時53分 再 開

○委員長（吉岡伸二郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により**教育総務課の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、教育総務課長より本日出席している説明員を紹介願います。教育総務課長。

○教育総務課長（菅野 勇君） 皆様、おはようございます。

予算審査特別委員会に当たりまして、教育総務課の出席者の紹介をさせていただきます。

教育長、本明陽一でございます。（「引き続きどうぞよろしくお願いいたします」の声あり）

教育次長、松尾隆治です。（「松尾隆治です。よろしくお願いいたします」の声あり）

続きまして、学校教育班の職員を紹介します。

学校教育班長、高橋活博でございます。（「高橋活博です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主幹の古澤晃一です。（「古澤晃一です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主査の内田由希子です。（「内田由希子です。よろしくお願いいたします」の声あり）

続きまして、総務給食班の職員を紹介いたします。

総務給食班長、佐々木辰己です。（「佐々木辰己です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主任主査の加藤典子です。（「加藤典子です。よろしくお願いいたします」の声あり）

技術主査の橋浦真徳です。（「橋浦真徳です。よろしくお願いいたします」の声あり）

続きまして、学校給食センターの職員を紹介します。

参事兼学校給食センター所長、高橋 信です。（「高橋 信です。よろしくお願いいたします」の声あり）

主任主査の姉崎裕子です。（「姉崎裕子です。よろしくお願いいたします」の声あり）

私、教育総務課長の菅野 勇です。どうぞよろしくお願いいたします。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明をお願いします。教育総務課長。

○教育総務課長（菅野 勇君） 初めに、議員の皆様におかれましては日頃より教育行政全般にわたりまして御理解と御協力を賜り、この場をおかりしまして、深く感謝申し上げます。

平成29年度も利府町教育振興基本計画に基づき「町はひとつの学校」基本理念のもと、本町の特色ある志教育、そしてブラザーシップ健全育成、スクールシップ学力向上、キャリアシップ人間形成の3つを柱として、それを支えるコミュニティーシップ地域協働、チャイルドシップ次世代育成の5つのシップを継続し、各種事業に取り組んでまいります。

教育総務課関係の主な事業につきましては、利府小学校建替え事業については、平成28年度に仮設校舎の移転を完了し、現在既存校舎の解体を行っております。平成29年度は、新校舎建築に着手し、平成30年12月末の完成を目指し進めてまいります。また、平成29年度新たな事業といたしまして、不登校や不登校傾向の児童生徒への支援対策として、学校生活に困難がある児童生徒の居場所づくりや学習支援を行うための心のケアハウス事業を実施いたします。事業概要については、歳入の中で御説明申し上げます。

それでは、平成29年度当初予算の主なものについて御説明いたします。

初めに、歳入につきまして御説明申し上げます。

平成29年度各種会計予算書①一般会計13ページをお開き願います。

15款1項3目1節公立学校施設整備費負担金1億6,183万円ではありますが、これは利府小学校校舎建替え事業に伴う校舎の増築分に当たる金額についての国庫負担金であります。

次に15ページをお開き願います。

15款2項6目1節幼稚園就園奨励費補助金1,683万1,000円ではありますが、これは私立幼稚園に入園している幼児を持つ保護者の課税状況に応じて入園料、保育料の一部を補助し、保護者の負担軽減を図るための国庫補助金であります。

次に19ページをお開きください。

16款2項7目2節スクールソーシャルワーカー配置事業補助金394万9,000円ではありますが、今年度も児童生徒の不登校やいじめ、虐待等の生徒指導上の問題について学校だけでは対応できないケースも増加していることから、専門的知識を持ったスクールソーシャルワーカー3名を配置するための補助金であります。

次に、20ページをお開き願います。

3節被災幼児就園支援事業費補助金331万1,000円ではありますが、これは私立幼稚園に通う被

災幼児に対し就園支援をするため、町が行う幼稚園奨励事業への補助金であります。

続きまして、4節みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業費補助金1,538万円については、主に今回は施設整備費と人件費5名分でございます。事業概要につきましては、お配りしております心のケアハウス事業の概要についてごらんいただきたいと思います。

まず、組織体制といたしましては、総合体育館内に心のケアハウスを新設いたします。不登校児童の居場所の提供、支援、相談、学校復帰へのプログラムの策定、学習支援が主なもので、職員2名体制で担当します。あと、学校学びのサポーター3名、こちらについては各中学校区へ1名ずつ配置し、別室登校の児童生徒や学習支援や相談を行います。実際的に子供の不登校対策としましては、実際今家庭にいる子供に対して学校と連携を図りながら動機づけ、まず学校に復帰するための動機づけという形でいろいろ相談なり支援を進める中でどうしてもすぐに学校に戻れないという児童生徒については例えば一時的に心のケアハウスのほうに来ていただき、だんだん集団生活等に慣れていただく、それから学校のほうにもどっていただくということで、あくまでもこの事業は最終的にはクラスに戻っていただくという形を考えております。不登校の児童生徒の要因については、さまざまなものが関連していることから当該児童への配慮が必要と考えております。教育委員会といたしましては、この県の補助を活用して学校との連携強化を図り、心のケアハウス事業が効果的に運用し、不登校及び不登校傾向の児童の減少に積極的に取り組んでまいります。

次に26ページをお開き願います。

21款5項3目6節学校給食費収入1億7,904万3,000円につきましては、小学校6校、中学校3校の学校給食費の収入であります。引き続き、児童生徒の適切な栄養価を維持するとともに、食育と地場産品の使用を推進し、安心して安全な給食を提供してまいります。

続きまして、歳出について御説明申し上げます。

107ページをお開き願います。

10款1項1目教育委員会費70万円につきましては、教育委員4名分の報酬などであります。

2目事務局費9,559万7,000円につきましては、主に特別職の教育長と一般職の教育次長、課長、総務給食班の人件費となっております。

次に、109ページをお開き願います。

3目学校教育費3億2,443万8,000円につきましては、学校における教育指導関係の経費と職員の人件費を計上しております。主な事業の内容について御説明申し上げます。

110ページをお開き願います。

8節報償費484万4,000円の主なものについては、スクールソーシャルワーカー活用事業として、いじめ問題の対策や不登校児童への相談体制の強化を図るため383万円を計上しております。13節委託料7,799万8,000円の主なものについては、児童生徒の健康診断業務委託料や、東部地区スクールバスの運行事業となっており、児童生徒の通学の安全確保のため、スクールバス6台を確保しての業務委託料として5,265万1,000円を計上しております。

次に111ページをごらんください。

15節工事請負費につきましては、心のケアハウスで使用するための部屋を総合体育館料理実習室に新設するための改修工事費であります。

19節負担金、補助金及び交付金7,849万4,000円の主なものにつきましては、スポーツ振興センターへの負担金、私立幼稚園就園奨励費補助金、あと町単独事業の町立学校児童生徒大会参加費補助金及び私立幼児教育施設運営費補助金などであります。

20節扶助費2,281万2,000円の主なものについては、要保護及び準要保護認定を受けた児童生徒への就学援助費として1,204万7,000円を計上しております。

次に、112ページをお開き願います。

町の単独事業であります町内に住む児童・生徒に対して教育に係る保護者の経済的負担軽減を図るため、小中学校入学に際し運動着を支給するための入学支援事業に係る経費として、小中学校合わせて777万1,000円を計上しております。

次に、小学校費関係について御説明申し上げます。

10款2項1目学校管理費3,348万6,000円につきましては、小学校6校における教育全般の管理に要する経費であります。

次に、113ページをごらんください。

2目教育振興費1,285万5,000円の主なものにつきましては、小学校の教育活動で要する消耗品や教育用備品の購入等に要する経費であります。

次に114ページをお開き願います。

3目学校施設費5億9,394万3,000円の主なものにつきましては、13節委託料3,782万6,000円で、利府小学校建替え工事施工管理業務委託、菅谷台小学校トイレ改修工事の実施設計業務委託、学校施設等の維持管理業務委託の14件であります。

次に115ページをごらんください。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

14節使用料及び賃借料2,852万8,000円につきましては、前年度対比79.5%の減となっております。減額の主な理由といたしましては、利府小学校仮設校舎賃借料について、平成28年度は建設費を含めたものでありまして29年度から校舎のリース料のみとなったための減額であります。また、教育用のコンピューター賃貸借事業において機器の再リースを行ったことによる減額でございます。

15節工事請負費4億8,036万円につきましては、利府小学校校舎建替え事業に関連する工事及び学校施設等の維持補修工事であります。

次に、116ページをお開きください。

19節負担金補助及び交付金40万5,000円と22節補償補填及び賠償金900万円につきましては、利府小学校建替え事業に伴う水道の加入金と電柱移設の補償金であります。

次に、中学校費について御説明申し上げます。

10款3項1目学校管理費1,935万円につきましては、中学校3校における教育全般の管理に関する費用を計上しております。

次に、118ページをお開きください。

2目教育振興費557万5,000円の主なものにつきましては、中学校の教育活動で使用する消耗品や教育用備品の購入等に要する経費であります。

次に、3目学校施設費3,563万円につきましては、中学校3校の施設維持管理に要する経費で、前年度対比79.6%の減となっております。減額の主な理由としましては、本年度学校トイレ改修工事に関する工事費の減、あとはしらかし台中学校の債務償還が完了したためであります。

次に、学校給食関係について説明申し上げます。

129ページをお開き願います。

10款5項4目学校給食施設管理費4,849万1,000円につきましては、みんなのお昼キャロット館とみんなのお昼ポテト館の維持管理に要する経費で、主なものにつきましては、11節需用費3,263万2,000円は給食センター2カ所の施設の光熱水費と修繕料であります。

次に、130ページをお開き願います。

13節委託料762万2,000円については施設の保守点検業務に関する経費を計上しております。

次に、131ページをごらんください。

14節使用料及び賃借料649万8,000円は、主に施設で使用します調理機器等の賃借料でございます。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

132ページをお開き願います。

5目学校給食費2億5,000万6,000円の主なものについては、11節需用費1億8,073万8,000円は給食の食材を購入するための経費となっております。13節委託料6,916万8,000円については学校給食費の調理、配送に要する経費であります。

以上が教育総務課関係の予算の概要の説明を終わります。御審議のほどよろしく願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。質疑の発言を許します。13番及川委員。

○及川智善委員 それでは、20ページですね、今御説明のありました利府町の子どもの心のケアハウス事業について、概要版頂戴しましたので、詳しく載っていますので、概要は承知いたしました。

それで、これは29年から32年ということで、ことし新たに立ち上げる事業でございますが、不登校の人はこの図によりますと概略図によりますと今9名の不登校の児童生徒がいらっしゃるということでございますよね。であれば、今点線の点々になっているところはけやき教室に行っているかどうかわかりませんが、ここも不登校の二市三町の共通の場であるということは認識しておりますが、9名の方は行っているのか行っていないのか、ちょっとこの図からはよくわかりませんが、同時的に行うという考えなのか、その点1点ですね。

それからあと、これ教育長にお伺いしたほうがいいのかということなんですが、政策面でするので、5年間ということであと県からの補助が途切れるというか計画がなくなるわけなんですけれども、不登校の生徒というのは恒常的に常態的にあり得るということだと思んですけども、これで5年間と切っちゃうのか、4年間ですね、切ってしまうのか、それとも何らかの形で補助額を県に求めていきながら大小の規模は別にして継続事業としてやっていくのか、その点についてお尋ねいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 高橋班長。

○学校教育班長（高橋活博君） 13番及川委員の御質問にお答え申し上げます。

資料のほう、今9名というお話でございましたが、済みません、小中学校9校の不登校ということで、町内小学校中学校9校ございますので、そちらの不登校の児童生徒の指導になってきます。塩釜けやき教室、今年度でございますが3名、町内の児童生徒通ってございます。お一人は12月に学校に復帰しているということで、今現在は2名の生徒がけやき教室に通所して

ございます。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 菅野課長。

○教育総務課長（菅野 勇君） 今回の心のケアハウス事業、4年間ということで、今後どうするのかというふうな形につきましては、今回この事業が新規ということで内部でいろいろ検討しております。まずとにかく4年間この事業に取り組んでその推移を見ながら検討してまいりたいということで、町としては不登校ゼロを目指して進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 及川委員。

○及川智善委員 失礼しました。そして9校の不登校の生徒が潜在的に、今はけやき教室に3名で1名何とか卒業できたというか、そういう体制になって2名行っていらっしゃるということなんですが、今度新規にケアハウス事業を起こすときにその不登校の方をこちらに移行するというか、心のケアハウス、地元を持っていくというか、預かるという方向は具体的にどのようなして住み分けというかですね、やっていくのか。あと潜在的にいらっしゃるかどうか、9校でたった2名しかいないのかどうか、その調査というか不登校ですから、学校単位で確認していると思いますけれども、ほかにいないのかどうかお尋ねいたします。

それから、まずやってみるというお話でございましたが、先ほども申し上げましたけれども、せっかくいただいた当然やってみることはやってみるんでしょうけれども、不登校対策はやったよかったなと思ったんですが、地元ですね、やっぱり地元で大事、共通のところより地元が一番いいのかなということなんですけれども、ぜひ続けていければ理想的だと思うんですけれども、5年間やってみるということなんですけれども、ぜひお続けいただきたいなど、県に働きかけて若干予算は厳しいんですが、こういう必要性から予算の確保ということを目指してやっていただきたいと思いますが、その辺の見解についてお伺いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 高橋班長。

○学校教育班長（高橋活博君） 1点目につきまして、及川委員の再質問にお答え申し上げます。

けやき教室、塩釜にございますけれども、こちらについては先ほど申し上げたとおりでございますけれども、不登校の数でございますが、28年度、今現在12月末になってございますけれども、こちらのほうで押さえている数字というのが不登校の児童生徒数につきましては16人、あと不登校傾向、不登校になりかけの子供になりますけれども22名が12月現在おります。ただ、こちらの方々を来年度こちらに全員行くのかというのはそうでもない状況でございます。どう

しても子供の心の部分を捉えますと、塩釜に行っている児童、一応ございます。じゃあ利府にできたから利府に来るのかということ利府に来たくない、そういうお子さんもいるとは思いますが。その長い、課長が申し上げたとおり、長い事業期間の中で将来的には利府に通いたいとかそういう形でお子さんが思うようであればそういう状況になってきますけれども、どうしても利府にいたくない、行くのであれば違うところという子供も出るかもしれませんが、そこについては事業を通して進めていきたいと考えております。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 菅野課長。

○教育総務課長（菅野 勇君） 事業の継続でございます。教育委員会としてもやはりこの事業を立ち上げる段階ではそちらの将来的なことも踏まえたちょっと考えはしております。それで、この事業をとにかく進めさせていただきまして、その経過等を踏まえて町長部局あわせて議会等にも進捗状況なり報告させていただきまして、その経過を見据えた段階で必要な場合には継続というふうな形で、今現在としてはとにかく4年間をさせていただきたいという内容でございます。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。関連、9番高久委員。

○高久時男委員 この子どものケアハウス事業、事業自体はいいと思うんですけども、ちょっとお聞きしたいんですが、ここの施設の名称とかってというのは何か新たなものを考えているのでしょうか。例えば、心のケアハウスという名称の施設だとなかなかマイナスイメージがありますので、児童自体、父兄自体もなかなか押し出しにくいと思うんですね。例えば認知症カフェとかって最近はやっていますけれども、私認知症なのよっていそいそ行く人はいないわけで、その辺のことをちょっとお尋ねしたいと思います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 菅野課長。

○教育総務課長（菅野 勇君） 9番高久委員の御質問にお答えします。

委員のおっしゃるとおり、やはりこの子供たちを配慮したネーミングということで、事業名はこれなんですけど、通称名を今委員会内部でちょっと検討しまして、希望の持てるような名前をちょっとサブタイトル名で今検討しております。あと決まり次第御報告させていただきたいと考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに質問ございませんか。6番木村委員。

○木村範雄委員 このケアハウス事業なんですけれども、これまでだどこがなくて要は各自塩釜のけやき教室に、多分二市三町が行っていたのかなと思ったんですけども、利府町民も行

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

っていた部分があると。今回は利府にできたということで、一つはこう1点目は要は各自治体ごとにこういうをつくるのに対して県がほぼ10分の10の補助率と、光熱費だけが3分の1となっていますけれども、というふうに県が進めようとしているのか。

あと、2点目はこれまでも課題だったのは、やっぱりどうやってそこに通うの。要はあそのの体育館のところまで、例えば野中だと野中から歩くよとなれば大変だろうし、やっぱり親が送り迎えしないとだめだっていうこともあると思うんですけれども、その辺の通所の方法なんかどんなふうに考えているのか、2点お願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 答弁願います。高橋班長。

○学校教育班長（高橋活博君） 7番木村委員の御質問にお答え申し上げます。

まず1点目、自治体の課題ということでお話ございましたけれども、県のほうではこの補助事業使って、基本的には市町村にこういう教室設置という方向では考えているようでございます。

2点目、けやき教室の通所方法でございますが、こちらのほうは塩釜のほうにけやき教室ございますが、保護者のほうで送迎してございます。以上でございます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 木村委員。

○木村範雄委員 その通所の方法が、やっぱり親が送り迎えしなきゃならないよとなるとなかなかやっぱりその部分でもやっぱり親も働いているし大変だと。子供のためだから当然休んでいくんだよというのも必要なだろうけれども、やっぱりその通所に対する姿勢というのをやっぱりちょっと考えてほしいと思うんですけれども、最後をお願いします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 菅野課長。

○教育総務課長（菅野 勇君） 6番木村委員の御質問にお答えします。

やはりこういう不登校傾向の児童についてはケースバイケースで、例えば今現在別室登校、学校には行っているんですがなかなか教室まで戻れないという児童生徒もおりまして、やはりその場合どうしても保護者が送迎したりというふうな形でやはりこの事業も全てに対して送迎まで万全にちょっとできないということで、まずはとにかく家からまず児童の居場所を見つけてまた新たに不登校対策を進めるという事業であるということで、そちらについては該当の保護者の皆様の御協力も得ながら進めさせていただきたいと考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） 教育長。

○教育長（本明陽一君） 私のほうからちょっと説明させていただきたいと思っておりますけれども、

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

けやき教室につきましては、当初二市三町で行っておりました。2年ぐらい前から七ヶ浜と松島は独自に行っておりますので、けやき教室には入っておりません。そういうふうに独自でやる地域もふえてきております。当初けやき教室を行った時点では、各大きな地域にけやき教室を設けてそこで全部その地域の子供たちの不登校に対して取り組んでいこうという姿があったんですけども、今の状況は不登校がなかなかふえる傾向が多くて、特に宮城県の場合は非常にそのことが喫緊の課題だというふうになっております。これは国の予算化がありまして、5年間行うという国の政策なんですね。1年目、去年はうちのほうは取りかからなかったんですけども、残り4年についてはうちのほうもやっぱり数値的なものがありますので、この事業を受け入れてとにかくゼロを目指していきたいというふうに思っております。私教育長になったときから不登校ゼロというふうに各学校には言っているんですが、言ってもなかなか難しいというのが実態でございます。それで県の事業を積極的に受け入れてこのケアハウス事業を通して4年間で先ほど課長が申し上げましたとおりゼロを目指していきたいなというふうに思っております。

それ以後につきましては、実際にはケアハウスをやってもけやき教室から外れるということとはできないんですね。けやき教室をやりながらケアハウスをやっていくというのが約束事なんです。でして、七ヶ浜町と松島さんはもう抜けてしまったのでそれはないんですけども、ですから拠出金として塩釜のけやき教室のほうにもやはり金額は出してしておりますけれども、実際に3名の子供が今年度はお世話になったという形がございます。ですから、塩釜のけやき教室をやりながら町としては心のケアハウスもやっていくということになりますので、その点御理解願えればというふうに思います。よろしく願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） ほかに。関連で、14番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 確認させていただきたいんですけども、この体育館の今度調理室を変えということでしたけれども、こちらには事務室がございますけれども、それは全く使わずにあくまでもこの元調理室という部屋を使うことになるのか、お聞きいたします。

それから、早速広報りふの3月号に学びサポーターと学校学びサポーターの募集が出ておりました。その中では教員免状を持っている人という項目がございましたが、学びサポーターのほうは、大学生もある時期には非常に子供たちと接するのによいのではないかと思いますけれども、その辺お考えいただけないかどうかお聞きいたします。よく被災地などでは学習支援として大学生が盛んに入っているものですから、その辺お考えいただけたらと思いますが、お願

いたします。

それから、スーパーバイザーが1名配置されますがもちろんもうお決めていることとは思いますが、スクールソーシャルワーカーの先生方とは重ならないのか、お願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 高橋班長。

○学校教育班長（高橋活博君） 14番遠藤委員の御質問にお答え申し上げます。

まず、第1点目の体育館のほうの事務室の件でございますけれども、こちらの教室につきましては、当然ケアハウスのサポーターさん等入るスペース、あと子供たちが通う分についてスペースを考えますと事務室ではちょっと狭いということで、調理室のほうを選んでございます。

2点目の……。

○委員長（吉岡伸二郎君） 菅野課長。

○教育総務課長（菅野 勇君） スーパーバイザーでございますが、やはりこちらについても教職員の免許ある方で、できれば学校長なり不登校対策に精通した方をお願いしたいという形で考えております。

それとあわせて今御提案ありました大学生、例えば今教員免許持っている方での話もあるんですけど、例えば免許なくてもできればそういう形でボランティア的に活動していただけるのか、それとも卒業してまだ資格は持っているんだけど就職がないような方も、今後ともその辺も含めてできれば協力をいただける体制にしていきたいと考えております。以上です。

○委員長（吉岡伸二郎君） よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑ありませんので、以上で教育総務課の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

ここで暫時休憩いたします。再開は11時40分とします。

午前11時30分 休憩

午前11時38分 再開

○委員長（吉岡伸二郎君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、審査日程表により会計室の予算審査を始めます。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

内容の説明に先立ち、会計管理者より本日出席している説明員を紹介願います。会計管理者。

○会計管理者兼会計室長（阿部智子君） お疲れさまです。それでは、本日出席しております会計室の説明員を御紹介申し上げます。

初めに、会計班長の鈴木由美です。（「鈴木です。どうぞよろしくお願いたします」の声あり）

主任主査の大枝大将です。（「大枝です。よろしくお願いたします」の声あり）

私、会計管理者兼会計室長の阿部智子です。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。会計管理者。

○会計管理者兼会計室長（阿部智子君） それでは、平成29年度会計室の当初予算について御説明いたします。

初めに、歳入であります。

利府町各種会計予算説明書①一般会計の24ページをお開き願います。

21款2項1目預金利子の1,000円につきましては、歳計現金等の運用により発生する利子でございます。

次に、歳出でございます。

32ページをお開き願います。

2款1項2目会計管理費でございます。本年度の予算額は3,551万1,000円で、前年と比較し27万4,000円の増額となっております。その主なものは、2節給料から4節共済費までの職員人件費の増額によるものでございます。

9節旅費につきましては、1,000円で、前年度と比較し3,000円の減額となっております。11節需用費につきましては20万5,000円で、前年度同等の予算を計上しております。

以上が平成29年度の会計室の当初予算でございます。御審議のほどよろしくお願いたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で会計室の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

引き続き行いますので、そのままお待ちください。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

それでは、審査日程表により監査委員事務局、選挙管理委員会事務局の予算審査を始めます。

内容の説明に先立ち、監査委員事務局長兼選挙管理委員会事務局長より本日出席している説明員を紹介願います。事務局長。

○監査委員事務局長兼選挙管理委員会事務局長（鈴木正敏君） それでは、本日出席しております監査委員事務局並びに選挙管理委員会事務局の職員を紹介いたします。

選挙管理委員会事務局主査、蜂屋雄輔でございます。（「蜂屋です。よろしく願います」の声あり）

監査委員事務局主査、佐々木 恵でございます。（「佐々木です。よろしく願います」の声あり）

私、事務局長の鈴木正敏でございます。どうぞよろしく願います。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。事務局長。

○監査委員事務局長兼選挙管理委員会事務局長（鈴木正敏君） それでは、平成29年度の当初予算につきまして、予算説明書の①によりその概要を御説明いたします。

初めに、選挙管理委員会事務局の当初予算につきまして御説明をいたします。

歳入予算から御説明いたします。

21ページをお開きください。

一番上の行になります。16款県支出金3項委託金1目総務費委託金5節の選挙費委託金といたしまして、1,115万6,000円を計上しております。宮城海区漁業調整委員会委員選挙の選挙人名簿と在外選挙人名簿の調製費につきましては、前年同額で計上しております。加えまして、本年度に執行が予定されております宮城県知事選挙の委託金を計上しております。

次に、歳出予算を御説明いたします。

資料の48ページをお開きください。

2款総務費4項選挙費1目選挙管理委員会費でございます。予算額は前年度より233万7,000円多い795万9,000円を計上いたしております。増額の主な理由は、人事異動によりまして職員人件費がふえたことによるものでございます。ここには事務局職員1名分の人件費のほか、選挙管理委員会委員の報酬や選挙人名簿の処理委託料など、選挙管理委員会の運営に要する費用を計上いたしております。

同じく2目常時啓発費でございます。予算額は前年度より5,000円多い28万3,000円を計上いたしております。ポスターコンクールの記念品や成人式で配る記念品など、啓発に要する費用

を計上いたしております。

49ページをごらんください。

同じく3目宮城県知事選挙費でございます。予算額は1,114万円を計上いたしております。宮城県知事選挙は、本年の11月20日の任期満了により本年度の執行が予定されております。その執行経費といたしまして、投票管理者等の報酬や、事務従事者の手当、ポスター掲示場の設置費など、宮城県知事選挙の投開票事務に要する費用を計上いたしております。

50ページをお開きください。

同じく4目利府町長選挙費です。予算額は1,042万3,000円を計上いたしております。利府町長選挙は、平成30年3月1日の任期満了により本年度の執行を予定いたしております。その執行経費といたしまして、投票管理者等の報酬や、事務従事者の手当、ポスター掲示場の設置費のほか、投票用紙や選挙公報の印刷費など、町長選挙の管理に要する費用を計上いたしております。

以上が選挙管理委員会事務局の予算でございます。

次に、監査委員事務局の当初予算につきまして御説明いたします。

資料の59ページをお開きください。

2款総務費7項監査委員費1目監査委員費でございます。予算額は前年度より47万6,000円減額の1,873万9,000円を計上いたしております。減額の主な理由は、人事異動によりまして職員人件費が減額になったことによるものでございます。ここには、例月出納検査や決算審査、定期監査等に伴います監査委員の報酬のほか宮城黒川地方町村監査委員協議会の負担金や、事務局職員2名分の人件費など監査事務に要する費用を計上いたしております。

以上が監査委員事務局及び選挙管理委員会事務局の当初予算の概要でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で監査委員事務局、選挙管理委員会事務局の予算審査を終わります。

どうも御苦労さまでした。当局は退席願います。

引き続き行いますので、その場でお待ちください。

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

それでは、審査日程表により、**議会事務局の予算審査**を始めます。

内容の説明に先立ち、議会事務局長より本日出席している説明員を紹介願います。議会事務局長。

○議会事務局長（鈴木則昭君） お疲れさまでございます。

それでは、説明員として出席をしております議会事務局職員を紹介いたします。

初めに、主幹の櫻井 渉でございます。（「櫻井です。よろしく申し上げます」の声あり）

主任主査の利 玲子でございます。（「利です。よろしく願いいたします」の声あり）

そして私、事務局長の鈴木則昭でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○委員長（吉岡伸二郎君） 次に、所管事項の内容の説明を願います。議会事務局長。

○議会事務局長（鈴木則昭君） それでは、議会事務局関係の平成29年度当初予算につきまして、御説明を申し上げます。

初めに、平成29年度利府町各種会計予算書、薄いほうでございます。9ページをお開き願います。

第3表債務負担行為でございます。表の一番上に記載しております議場システム機器保守業務事業につきましては、平成28年9月に入れかえを行いました議場システム機器の保守業務の債務負担行為でございます。本年の8月までの1年間は、瑕疵期間であり、無償で機器の点検、調整等をしておりますが、2年目以降は保守業務の契約を結び実施するものであります。債務負担行為の期間は平成30年4月から平成33年8月までの3年5カ月であり、限度額は196万9,000円であります。また、平成29年9月から翌年3月までの7カ月分の33万3,000円は、この債務負担行為から除いて平成29年度の当初予算に計上しております。

続きまして、平成29年度利府町各種会計予算説明書①をごらん願います。28ページをお開き願います。

1款1項1目議会費は、1億4,156万5,000円で、前年度と比較して1,665万3,000円、13.3%の増額となっております。増額の主な理由は、職員人件費の増と14節使用料及び賃借料の議場システム機器賃借料の増によるものであります。

それでは、節ごとに御説明を申し上げます。

1節報酬は、前年度と同額の5,060万4,000円を計上しております。

2節給料、3節職員手当等、4節共済費は前年度においては退職職員分を減額して計上しておりましたが、平成29年度につきましては、現在の職員数と同様の5名分を予算計上している

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

ため、増額となっております。

9節旅費は、定例会を初め各常任委員会の日当、費用弁償、先進地視察研修及び職員の随行旅費として、前年度とほぼ同額を計上しております。

10節交際費は、実績を踏まえ前年度より5万円減の30万円を計上しております。

11節需用費は前年度より5万9,000円の減額となっておりますが、印刷製本費において議会だよりの印刷業務契約が平成28年度末に満了を迎えることから、平成29年度から3年契約の入札を実施したところ、現在の単価契約より低い金額で契約を結ぶことができたことによるものでございます。

12節役務費につきましては、債務負担行為で説明申し上げましたが、議場システム機器の保守料となっております。

13節委託料は、定例会や臨時会などの会議録反訳業務と議会ホームページの保守管理業務の委託料を前年度とほぼ同額計上しております。

14節使用料及び賃借料は、137万円増の345万9,000円を計上しております。増額の理由は、議場システム機器賃借料において平成28年度は9月から3月までの7カ月分の計上でしたが、平成29年度は1年分を計上したことによるものでございます。

19節負担金、補助及び交付金は、715万円で36万6,000円増となっておりますが、増額の理由は宮城黒川地方町村議会議長会の負担金の増でございます。富谷町の市制移行による構成市町村数の減及び国勢調査人口の確定に伴い、負担金が増額になったものであります。

以上が議会事務局の平成29年度の当初予算の内容でございます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（吉岡伸二郎君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 質疑がありませんので、以上で議会事務局の予算審査を終わります。

御苦労さまでした。当局は退席願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査箇所の選定を行います。

質疑あるいは御意見ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（吉岡伸二郎君） 総括質疑及び現地調査がないようですので、これで本日の予算審

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

査特別委員会を散会いたします。

なお、3月13日は午前9時30分から特別委員会を再開いたしますので、御参集願います。

どうも御苦労さまでした。

午前11時58分 散 会

平成29年3月予算審査特別委員会会議録（3月9日木曜日分）

上記会議の経過は、事務局長鈴木則昭が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

平成29年3月9日

委員 長

